

4月から新しい職場に異動し、慣れない環境で何でもないことにも緊張していることが多かったのですが、ある出来事がきっかけで温かい気持ちになれば、今では安心した気持ちで過ごすことができるようになりました。

私がよく利用しているトイレでのことです。ある日トイレに入ったとき、トイレトペーパーホルダーの上の棚に、新しいトイレトペーパーが置かれていたのに気づきました。よく見てみると、ホルダーにあるトイレトペーパーの残りが少なくなっていました。しかし、その時はその状況を見ても特に思うことはありませんでした。しばらくして再びトイレに入ったとき、トイレトペーパーがあつたと同じように棚に置かれていることに気づきました。その個室を出たとき隣をのぞくと、同じようにトイレトペーパーが置かれていたのでした。私はこの時、誰かが見えない相手のことを考えて、新しいトイレトペーパーを置いてくれたのだと気づき、とても温かい気持ちになれたのでした。それまでずっと残っていた緊張感があつとほぐれた時でもありました。

## 見えない相手のことを考えて…

そんなことを考えていると、テレビの番組の中であるタレントが子育てについて話していたことを思い出しました。その方の家庭では、トイレを使った時トイレトペーパーの残りが少なくなっていたら、新しいものに取り替えておかなければならぬルールがあるということでした。その話を聞いた時、最初は、なぜトイレトペーパーにこだわるのか分かりませんでした。しかししばらくその人の話を聞いているうちに、その方がわが子には、「自分だけ良ければいい」という考えではなく、見えない相手のことを考えて行動できる人になつてほしくてそうしているのだということに気づき、その方針に納得したのでした。

見えない相手のことを考えて、ちよつと手間のかかることでも行動に移せる、そんな人になろうと改めて思わされた出来事でした。

\*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

### 問い合わせ

人権啓発広報委員会

☎ 8800・6569